

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

本校では、いずれの教科も全国の平均正答率を若干下回る結果となりました。教科ごとに見ると、国語では、「我が国の言語文化に関する事項」の領域で全国の平均正答率より高く、それ以外の領域で低い傾向にありました。算数と理科では、全ての領域で全国の平均正答率に近いか若干低い傾向にありました。児童質問紙からは、「規範意識」の項目についてはやや高い傾向が見られ、「生活習慣・学習習慣」の項目については低い傾向が見られました。

《強み・弱み》

本校では、児童がペアやグループで話し合う等の「学び合い」の取組を推進しているところです。朝読書の習慣が定着し、読書への関心も高まってきています。これまでの日常的な取組を通して、わからないことを尋ね合ったり、互いの考えを出し合ったりする姿が見られるようになってきています。一方で、無解答率が高い傾向もみられ、問題を最後まで粘り強く読み進めたり、指定された条件に合わせて考えたりする力には、まだまだ弱さが見られます。また、情報や他者の意見を分析・活用して自分の考えをまとめる力についても課題がみられます。

【国語・算数】

全国平均と比較して良い傾向がある問題

	問題番号	問題の概要	問題の趣旨
国語	1ー	【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いを理解する
	3四	(一) から (二) に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する	漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く
理科	3 (1)	光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ	日光は直進することを理解している

全国平均と比較して課題が見られる問題

	問題番号	問題の概要	問題の趣旨
国語	2二	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の <input type="text" value="A"/> に 入る内容を書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像する
	3二	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける
算数	2 (4)	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる
	3 (4)	1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く	加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる
理科	2 (4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる
	3 (4)	問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる

【質問紙調査】

全国平均と比較して良い傾向がある主な項目

- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」等、教員との関わりに関する項目
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」「友達と協力するのは楽しいと思いますか」等、友人との関わりについての項目
- 「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」「あなたの家には、およそどれくらい本がありますか」等、読書習慣に関わる項目
- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」等、社会参画に関わる項目
- 「国語・算数・理科の勉強は大切だと思いますか」等、教科学習への意識に関する項目



全国平均と比較して課題が見られる主な項目

- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか 起きていますか」等、基本的な生活習慣に関する項目
- 「将来の夢や目標を持っていますか」等、キャリアに関する項目
- 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」「5年生までに受けた授業は、自分にあつた教え方、教材、学習時間などになっていましたか」等、自律的な学習に関する項目
- 「1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか」等、ゲームやインターネットの使用時間に関する項目
- 「1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか」等、ICT機器の学習への活用に関する項目
- 「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」等、自分の考えをまとめる力に関する項目
- 「国語・算数・理科の勉強は好きですか」等、教科学習の好みや理解に関する項目
- 「算数の授業では、公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」「理科の授業では、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか」等、学習内容の概念的な理解に関する項目

【指導の充実に向けて】

- ・これまでに引き続き、授業の初めに見通しを持って学習に臨めるような「めあて」を提示、授業の終わりには、自分がわかったりできるようになったりしたことや、友達の考えを聞いて自分の考えが変わったことを振り返る活動（「ふり返し」）を推進します。今後は特に「ふり返し」の活動を充実させることにより、学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる力や、自ら課題を見出し解決する力の素地育成を目指します。
- ・ペアやグループで話し合う場面を取り入れ、聴き合う関係づくりの強化を進めます。また、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫する活動を設定する等、児童の深い学びにつながる授業づくりにも日々取り組んでいきます。
- ・教科指導の際には、正しい答えを出すことだけではなく、問題を解く過程も重視した指導に努めます。
- ・授業の時間だけでなくベシクタイムでの基礎の積み上げを図ります。特に、本調査で弱さの見られた領域や課題に対する補充等に力を入れていきます。
- ・保護者、地域との連携を図りながら規則正しい生活習慣や、学習の計画等に関する課題について、学校だよりや学習の手引き等を活用しながらさらなる啓発を進めていきます。